

# ねむの木新聞 第17号

～この2年間を共に歩み、次の1年に向けて～

2025年09月

## 世話人



宮崎萌々子

**A1:** 「ご飯が楽しみです！」とみんながいつも言ってくれる。

**A2:** 誕生日やイベントごとのご飯を作ること。色どり、お肉・野菜・魚のバランス。

**A1:** 入居者さんと毎日、一緒に夕飯を食べて、たくさん話をして、笑って過ごす時間が楽しいです。

**A3:** 入居者の方とみんなで食事を作りたい。ギョーザやピザなど。

**A2:** 朝ごはんとお弁当担当をしています。朝食は一日の活力の源だから、お弁当は午後からのやる気のもとだと思って。一所懸命作っています。

## 施設長



荒木博子

**A3:** 「ねむの木のした」は皆男性なので女性のグループホームにも挑戦したいです。

**A1:** 洗濯機を回すと、あと「39分」のようにおよその時間が出る。入居者のめぐみさん（20代、男性、仮名）から「今から39分経ったら何分ですか？」と聞かれるので、手作りの「39分時計」を作った。あげたら、喜んでくれたこと。



## サービス管理責任者



寺岡良介

**A2:** できる限り温泉に行き入居者の皆さんと裸のつき合いを通して、本音で語り合えるといいなと思。

**A3:** いつも読んでいただいてありがとうございます。これからの一年で挑戦したいことは、この新聞を続けることです。「ねむの木のした」らしさを大切に、阿蘇の良さを伝えていきたいなと思っています。

## <インタビューしてみました>

- ★ Q1 「ねむの木のした」での2年間を振り返って、うれしかったことや心に残っているエピソードはありますか？
- ★ Q2 「ねむの木のした」での暮らしの中で、あなたが大切にしていることや、好きな時間・こだわり・楽しみがあれば教えてください。
- ★ Q3 これからの「ねむの木のした」で、楽しみにしていることや挑戦してみたいことはありますか？

**A1:** 入居した頃の知らない人たちがばかりで心細かったけど、「歓迎会」をしてもらって、心があたたかくなったこと。



ひろしさん (仮名) 20代

**A3:** 今度みんなで出かけるレクリエーション(動物園)が楽しみ。

**A2:** 夕食時や夕食の後に、みんなが食堂に集まって、ワイワイ話をする。



グループホーム「ねむの木のした」が2023年10月にオープンして2年の月日が流れた。入居者も次第に増え、活気に満ちた声が聞かれるようになった。年齢層も若く、現時点で入居されている方が3名。内20代が2名、60代が1名。今後入居の希望を示されている方が30代が1名、10代が1名と、圧倒的に若い人が多いのが特徴だ。今回と次回の2号で入居者とスタッフについてインタビュー形式で紹介していきたい。



**A1:** ①カラオケが楽しいです。②新しく入って来る人とご飯を一緒に食べるのが楽しい。



めぐみさん (仮名) 20代

**A3:** 年上の人に対し、正しい言葉づかいを気を付けたい。

**A2:** 楽しみはカラオケです。  
①世界に一つだけの花 (Smap)  
②上を向いて歩こう (坂本九)  
③ドリフのズンドコ節 (ザ・ドリフターズ)